

YIA 会員だより 2024年4月号

発行；吉野川市国際交流協会・広報部(Tel22-2271,Fax22-2270)

第232号 ホームページ URL <https://yia2020.net/>



【4月以降の活動予定他】

◎日本語教室お花見：4月7日予定

◎YIA 総会：5月12日13：00～

場所 吉野川市文化研修センター

◆AJET 徳島 英語ミュージカル「スポンジ・ボブ」を観劇して 瀬尾 規子

AJET 徳島の英語ミュージカルは中学生レベルの英語で上演され、ミュージカルを通じた国際交流を目的に1995年から開催されました。1995年の「イーストサイドストーリー」は鴨島町公民館でも上演されました。当時、鴨島町国際交流協会も支援し、公演後盛大に交流会を持ちました。4年間コロナで中断していましたが、昨年復活し「リトルマーメイド」が上演されました。

吉野川市では2019年の「アラジン」以来、久しぶりの上演となりました。

昨年 ALT のロビンさんから YIA に後援依頼があり、「Of course!」と返事しました。ミュージカルは県内5カ所で開催され、吉野川市では3月10日（日）午後2時～4時に吉野川市アムニティーセンターで上演されました。YIA は当日の受付とケーブル TV の取材の手配をしました。152名の入場者があり、小さな子どもたちもたくさん来てくれました。日本語教室で学ぶ英語が得意な受講生も来てくれました。

「スポンジ・ボブ」は人気アニメで、仲間が暮らす架



挨拶するロビンさん

空の海底都市ピキニタウンに火山噴火の危機が迫る中みんなで力を合わせて街を救うというストーリーでした。吉野川市の ALT は、ロビンさんとボンダさんが出演し、演技はもちろん歌と踊りもとても上手でした。地元開催で、久しぶりに英語ミュージカルを楽しむことができました。後日、ケーブル TV おえと日本中央 TV

で放映されますので、ぜひご覧ください。



受付けする YIA メンバー

◆第4回グローバルセミナー 三宅 ふうさ代

3月23日アメリカ、メリーランド州出身のボンダ・モハメドさん24歳（山川中学校、山瀬小学校、高越小学校の ALT）を迎え、第4回グローバルセミナーが開催されました。

メリーランド州は Washington D.C. に近く、多彩なシーフード料理や Old Bay という調味料が有名です。最大都市ボルティモアには、美術館、水族館、オリオール球場などがあります。1980年両親がアフリカ西海岸のシエラレオネからアメリカに移住し一家を築きました。一家はイスラム教徒で、母、姉が看護師、もう一人の姉は医師です。

ボンダさんは漫画やアニメが大好きで、大学(UMBC)ではアニメを専攻しました。子供の頃から好きだったのは、ハンターハンター、ハイキュー、AKIRA、ドラゴンボール、スポンジボブ、スパイダーマン 等で



す。制作したアニメやロボットのビデオを見せてくれました。アニメは楽しい内容だったので、リクエストして再度見せてもらいました。

日本語を勉強し始めて2年になりますが、異文化を探求し外国を旅したいという気持ちが強まっているそうです。スケートボード、チェスも好きで、日本食ではたこ焼き、すき家の牛丼やどん兵衛のきつねうどんが好物とのことです。



◆日本語教室は多文化交流の場 萩森 健治

日本語教室では、ここ数年アジアのいろいろな国からの受講生が来校し、居ながらにして多文化交流を楽しめる場ともなっています。今年2月にラオスとカンボジアの出身者が初めて鴨島教室に新規加入しました。その他、受講生の出身国は、ベトナム、中国、インドネシア、モンゴル、ミャンマー、タイ、ベトナム、フィリピン、ネパールの計11か国で現在も勉強中か、すでに帰国した受講生もいます。

また、最近は技能実習生から特定技能に移行し日本で働き続けたいと希望する受講生が多く、日本語能力試験、介護福祉士、運転免許の受験を目指して熱心に学習しています。受講生の一部を以下に紹介します。

ラオスの男性3人女性1人、カンボジアの女性1人は、特定技能として阿波市内の農業会社で働いています。その会社は、イチゴやトマトを大規模に栽培し、海外にも販売しているそうです。社長さんは若くて熱心で、外国人の皆さんに将来は独立や起業を目指してほしいと言っています。同社の受講生の皆さんは、電動アシスト自転車で30分もかけて来校し、明るくてとても意欲的に勉強しています。



美郷梅林で梅の花見

ネパールからの男性2人は、阿波市内の建設会社で技術・人文・国際の在留資格で土木技術者として働いています。とくにプラディーブさんは、2023年8月に鴨島教室に新規加入して以来、今年3月末まで日本語教室を休んだことがなく、日本語教室初の皆勤賞を受賞しました。日本語の上達も目覚ましく、7月のN3受験にむけて猛勉強中です。

フィリピン出身で英語の得意な若い入口兄弟は、阿波市役所のペットボトル処理場で働いています。兄の博光君は念願の運転免許を取り中古のマイカーで弟と一緒に教室に来ています。

以前に多く来校していたベトナム女性は特定技能の介護に移行し、鳴門市内や徳島市内の介護施設で働いています。休日勤務が多く日本語教室にほとんど来校できませんが、月に1回程度鴨島に集まって花見や懇親会を楽しんでいます。



ベトナム女性達がお花見

山川教室で永年勉強した原田食品の張さんは3月末で卒業し、4月から東京のレストランで働きます。張さんは2020年度から2023年度まで4年連続で最多出席賞を受賞する快挙を達成しました。



張さんが最多出席賞受賞

受講生の皆さんと教室で勉強し、お花見などのイベントで交流するのは楽しいです。ずっと日本で、徳島で、吉野川市で働いてほしいです。他地方に移動したり帰国したりして別れるのは少し寂しいですね。